EMI CLASSICS

EMI Music Japan Inc.
MONO MADE IN JAPAN TOCE-14072

# Schubert : Lieder

## Elisabeth Schwarzkopf

EDWIN FISCHER piano

EMI CLASSICS

# シューベルト
SCHUBERT

| | | |
|---|---|---|
| 1 | **楽に寄す D.547**<br>AN DIE MUSIK, D.547 | 2'39" |
| 2 | **春に D.882**<br>IM FRÜHLING, D.882 | 4'30" |
| 3 | **悲しみ D.772**<br>WEHMUTH, D.772 | 2'59" |
| 4 | **ガニュメート D.544**<br>GANYMED, D.544 | 4'49" |
| 5 | **緑野の歌 D.917**<br>DAS LIED IM GRÜNEN, D.917 | 4'32" |
| 6 | **糸を紡ぐグレートヒェン D.118**<br>GRETCHEN AM SPINNRADE, D.118 | 3'25" |
| 7 | **恋人のそばに D.162**<br>NÄHE DES GELIEBTEN, D.162 | 3'17" |
| 8 | **若い尼僧 D.828**<br>DIE JUNGE NONNE, D.828 | 4'49" |
| 9 | **シルヴィアに D.891**<br>AN SYLVIA, D.891 | 3'05" |
| 10 | **水の上で歌う D.774**<br>AUF DEM WASSER ZE SINGEN, D.774 | 3'19" |
| 11 | **夜のすみれ D.752**<br>NACHTVIOLEN, D752 | 2'47" |
| 12 | **ミューズの子 D.764**<br>DER MUSENSOHN, D.764 | 2'03" |

**エリザベート・シュワルツコップ（ソプラノ）**
ELISABETH SCHWARZKOPF (Soprano)

**エドウィン・フィッシャー（ピアノ）**
EDWIN FISCHER (Piano)

Recorded : 4-7 October 1952, Abbey Road Studio, London
Producer : Walter Legge
Balance Engineer : Harold Davidson
Remastering Engineer : Yoshio Okazaki

## 若いシュワルツコップの瑞々しい情熱と E. フィッシャーの豊かな表現力の出会い

このディスクは1952年、当代随一のリート歌手であるエリザベート・シュワルツコップと巨匠エドウィン・フィッシャーがただ一度共演した一期一会の記録である。すばらしいシューベルトだ。貴重な記録であるということ以上に、ここに響いている人間のホットな心模様が僕ら聴き手の胸を強く揺さぶるのだ。

37歳のシュワルツコップと66歳のフィッシャーが描き出したシューベルトの、なんと真摯で清純な情熱に満ち満ちていることだろう。シュワルツコップのドイツ語はしっかりと聴き手に届いて、詩に表れた情感の揺らぎをクッキリと浮かび上がらせるが、それ以上に若い彼女の瑞々しい情熱がシューベルトの音楽を雄弁に語っている。《春に》に聴く恋の切ない憧憬が、《ガニュメート》や《緑野の歌》の健康的な高揚感が、《悲しみ》の暗く燃える陰影が、そして《糸を紡ぐグレートヒェン》や《若い尼僧》の心の奥底に秘めた爆発的に激しい情熱が、聴き手の心に深く突き刺さる。その表現の潔さ！　その意志の決然！

フィッシャーのピアノもシュワルツコップに負けず劣らずシューベルトの音楽を語って、実に表情的だ。時に歌に寄り添い、時に歌をリードするほどのダイナミックな表現を聴かせるが、その豊かな表現力は歌を包み込むような懐の深さを持って、伴奏者と言うよりは共演者としてシュワルツコップとともにシューベルトの詩情を描き出すのだ。



シューベルトは「歌曲王」と呼ばれるが、それは600曲超という歌曲作品の多さということ以上に、詩と音楽とを緊密に合致させることによって人間の深い情感や心の揺らぎを見事に描写したという点による。それを実現させたのは天才的な転調技術と驚異的に豊かな表情を見せる旋律であった。伴奏ピアノに持たせた多様な描写力も類稀なものであり、ピアニストにも高度な音楽性・芸術性が要求される。

**1 楽に寄す　D.547**

音楽に対する感謝の念を感動的に歌っている。2節から成る短く単純な有節歌曲だが、潔癖とした風格と清純な気品が漂う名品。ショーバーの詩による。

**2 春に　D.882**

恋人と過ごした楽しく幸せな春の日に思いを馳せる。シュルツェの詩による。

**3 悲しみ　D.772**

森や野原を歩くと、落ち着きを失くして悲しくもなると歌う。コリンの詩による。

**4 ガニュメート　D.544**

美少年ガニュメートが神々の長ゼウスに伴われてオリンポスの山に向かった時に歌ったという、ギリシャ神話に基づいたゲーテの詩によっている。

**5 緑野の歌　D.917**

9節から成る有節歌曲だが、第1、2、5、8節と、第3、4、6、7節とがそれぞれ同じ旋律を持っている。ライルの詩による。

**6 糸を紡ぐグレートヒェン　D.118**

ゲーテの代表作《ファウスト》第1部、マルガレーテが糸を紡ぎながらファウストを思慕する歌。糸車の回転がそのまま少女の心を映し出す。シューベルト最初のゲーテ歌曲。

**7 恋人のそばに　D.162**

自然の現象に遠く離れた恋人を思い慕う切ない心を歌う。ゲーテの詩による。

**8 若い尼僧　D.828**

嵐と修道院の鐘の音の描写が印象的な作品。激しさを増す嵐に煽られるように、若い尼僧が自らの信仰心をドラマティックに歌う。クライゲルの詩による。

**9 シルヴィアに　D.891**

シェイクスピアの戯曲、《ヴェローナの二紳士》の中の詩〈Who is Sylvia〉のドイツ語訳（パウエンフェルト訳）による。村娘シルヴィアの美しさと優しさを讃えた歌である。

**10 水の上で歌う　D.774**

伴奏ピアノが描写する水の流れが憂いを秘めてたいへん印象的な作品。夕日に映える風景と人生の儚さが重ねられる。シュトルベルク伯爵の詩による。

**11 夜のすみれ　D.752**

3節からなる小品で、夜の神秘的な雰囲気と豊かな叙情性が深い陰影を刻む佳品である。マイアホーファーの詩による。

**12 ミューズの子　D.764**

ト長調と口長調とが交互に現れる有節歌曲。音楽の神ミューズに愛された〈わたし〉がさまざまなところで歌を響かせる明朗な作品。ゲーテの詩による。



**エリザベート・シュワルツコップ**

1915年、現在のポーランド領ヤローソン生まれ。34年からベルリン音楽大学で学び、38年、ベルリン市立歌劇場でデビュー。《コシ・ファン・トゥッテ》のフィオルディリージ、《ばらの騎士》の元帥夫人などは彼女の当たり役である。フルトヴェングラーやベーム、カラヤンといった超一級の指揮者たちとの共演が多く、当代随一のプリマであり、リート歌手であった。76年に引退、レコーディングも79年を最後に第一線から離れた。2006年死去。

**エドウィン・フィッシャー**

1886年、スイスのバーゼル生まれ。バーゼル音楽院で学んだ後、ベルリンのシュテルン音楽院で学ぶ。卒業後1914年まで同音楽院で教鞭をとる。1931年からベルリン高等音楽院ピアノ科の教授に就任。同時にベルリンを中心に演奏・録音活動を精力的に行う。バッハ、ベートーヴェン、ブラームスを中心としたドイツ音楽をレパートリーにして演奏し続けた。42年に戦火のドイツを離れ、スイスに移住。60年、チューリヒで亡くなった。

**（松沢 憲）**

〈取り扱い上のご注意〉●ディスクは両面共、指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱って下さい。●ディスクが汚れたときは、メガネふきのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽くふき取って下さい。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないで下さい。●ディスクは両面共、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、シール等を貼付しないで下さい。●ひび割れや変形、又は接着剤等で補修したディスクは、危険ですから絶対に使用しないで下さい。
〈保管上のご注意〉●直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所には保管しないで下さい。●ディスクは使用後、元のケースに入れて保管して下さい。●プラスチックケースの上に重いものを置いたり、落としたりすると、ケースが破損し、ケガをすることがあります。